

平成30年 5月11日  
琉球大学

## 平成30年度琉球大学でいご会総会の開催について

日頃より献体思想の普及報道にお力添えくださり、感謝申し上げます。

さて、当会で会員相互の親睦交流を兼ねて、平成30年度「琉球大学でいご会総会」を下記のとおり、予定しております。

「琉球大学でいご会」の活動及び「献体」の思想普及にご協力賜りたく、多忙な折恐縮ですが、本会について取材・報道くださいますよう、ご案内申し上げます。

### 記

日 時：平成30年5月19日（土）10：30～

場 所：琉球大学千原キャンパス（大学会館）

内 容：別紙のとおり

（問い合わせ）

琉球大学医学部学務課課長代理 田仲

でいご会事務局 東江

電話：098-895-1078

FAX：098-895-1092

E-mail：igzgaksen@to.jim.u-ryukyu.ac.jp

## 「琉球大学でいご会」とは

自分の死後、遺体を琉球大学の医学教育・研究及び県内医療系養成機関のために役立てようとする志を持つ方々が集まり「琉球大学でいご会」をつくっています。これらの方々は、ご本人はもとよりご家族の良きご理解のもとに本会に「献体」を申し込まれた方々です。

### 献体とは

医学教育・研究の為に、自分の遺体を無償で提供することを生前から約束し、実行することが「献体」といわれる行為です。

医師になるためにはどうしても人体の構造を知らなければなりません。人体の構造を良く知った医師は、病気の原因や、患者さんの具合の悪いところを早く見つけ出して適切な治療を行ったり、さらには予防することが出来ます。人体の構造を知ること、それが医学の基礎といわれる解剖学です。そして医学生が実際に人体を解剖して造化の妙を知り、生命の尊厳に触れることの出来る唯一の場が解剖学実習です。したがって、献体は遺体を提供するにとどまらず、医師の倫理の涵養に計り知れぬ大きな役割を担っているといえましょう。

「献体」について深いご理解と格別のご協力を寄せられ、自分の遺体を琉球大学の解剖学実習に提供して下さることを生前から約束して下さった方々の会が、「琉球大学でいご会」であります。